

船橋市文化振興基本方針に係る対象事業の進捗管理表

NO.	基本目標	事業名	担当課	開催経緯等	事業概要	指標値	R1事業実績	R1協議会から特記事項	R2事業実績	R2協議会から特記事項
1	基本目標 I 気づき始める施策 ① 気軽に多様な文化に触れることができる機会の提供	市民ギャラリー・茶華道センター主催事業	文化課(指定管理)	市民の文化芸術に対する理解を深め、また文化的な環境の中で生きる喜びを見出すことを目的として開催する。	各種教室事業の実施 (華道の世界・茶道の世界・子供茶道教室・囲碁入門子供教室・日本舞踊子供教室・外国人対象日本伝統文化体験教室) ①華道の世界は、初心者から経験者までを対象として、四季折々の花材を使いながら華道の基礎から応用までの技術の習得を目指す。 ②茶道の世界は各流派の立ち居振る舞いや茶の点て方など実践的な作法の習得を目指す。 ③囲碁入門教室は、囲碁未経験者を対象に、囲碁の楽しさを教える。 ④日本舞踊子供教室は、小中学生を対象に礼儀作法から始まり古典音楽に合わせて手足の動作などを実践的な技術の習得を目指す。 ⑤子供茶道教室(ハッピーサタデー事業)は、小中学生を対象に、楽しいお稽古から日本文化の素晴らしさ・大切さを学び、また礼儀作法についても習得させることを目的とする。 ⑥日本伝統文化体験教室は、外国人を対象に、日本の伝統文化である茶道や華道に親しむと共に、茶道・華道の基本的な知識を学び、初歩的な所作や技能を身につける。 ⑦茶室開放日は、茶室を無料開放し、茶室見学、茶会体験を行った。	教室参加者延べ人数 【3,000人】	【決算額 6,002,468円】 【指標値実績 3,169人】 ①平成31年4月から令和元年9月まで、令和元年10月から令和2年2月までの年2期として開催。1期当たり10回開催。参加者数761名 ②平成31年4月から令和元年9月まで、令和元年10月から令和2年3月までの年2期として開催。1期当たり10回開催。参加者数1,382名※3月はコロナウイルス対策のため一部中止 ③令和元年8月3回開催。参加者数17名 ④令和元年6月～12月までの土曜日 全10回。参加者数58名 ⑤令和元年6月～令和2年3月までの第3土曜日 全10回。参加者数212名※3月はコロナウイルス対策のため中止 ⑥令和元年6月～12月までの隔週木曜 全10回。参加者数84名 ⑦平成31年4月～令和2年2月までの第2金曜日。全12回。参加者数655名※3月はコロナウイルス対策のため中止		【決算額 897,296円】 【指標値実績 184人】 ①令和2年10月から令和2年2月までの1期当たり10回開催※12月末からコロナウイルス対策のため中止(実開催数6回)参加者数184名 ②令和2年度はコロナウイルス対策のため中止 ③令和2年度はコロナウイルス対策のため中止 ④令和2年度はコロナウイルス対策のため中止 ⑤令和2年度はコロナウイルス対策のため中止 ⑥令和2年度はコロナウイルス対策のため中止 ⑦令和2年度はコロナウイルス対策のため中止	
2	基本目標 I 気づき始める施策 ① 気軽に多様な文化に触れることができる機会の提供	吉澤野球博物館資料展示室(企画展/常設展示入れ替え)	文化課 ↓ R3～郷土資料館	平成27(2015)年に吉澤野球博物館より譲り受けた約6,300点の貴重な資料を保存・活用していくため、平成29(2017)年に船橋アリーナ内に「吉澤野球博物館資料展示室」を設置。本市スポーツ総合展示等アドバイザーの江藤省三氏からの助言や、野球文化振興のための協定を締結した(公財)野球殿堂博物館に協力を仰ぎ、展示室の充実を図っていく。	展示室の認知訴求とプロ・アマ問わず地域の野球文化の振興を図るため、展示資料の一部入れ替え、企画展及びワークショップ、講演会等を開催する。	講演会(冬季)参加者数 【30人】	【決算額 575,756円】 【指標値実績 0人】 開催日 ・展示入替:「イチローコーナー」設置 令和元年7月1日(月)～ ・企画展 「探究! 野球道具の世界～バット・ボール・グラブのひみつ」展 令和2年3月4日(水)～3月22日(日) ※新型コロナウイルス感染症拡大防止対策のため中止 ・講演会:「江藤省三の野球小話」 令和2年3月22日(日)/講師:江藤省三 参加者:0人 ※新型コロナウイルス感染症拡大防止対策のため中止になったことにより、講師謝礼が減額となった。		【決算額 0円】 【指標値実績 0人】 開催日 ・展示入替:「オリンピックコーナー」設置 令和3年3月～ ※新型コロナウイルス感染症拡大防止対策のため中止 ・企画展 「探究! 野球道具の世界～バット・ボール・グラブのひみつ」展 令和3年3月 ※新型コロナウイルス感染症拡大防止対策のため中止 ・講演会:「江藤省三の野球小話」 令和3年3月/講師:江藤省三 参加者:0人 ※新型コロナウイルス感染症拡大防止対策のため中止	
3	基本目標 I 気づき始める施策 ① 気軽に多様な文化に触れることができる機会の提供	ロビーコンサート	文化課	平成5年3月、船橋吹奏楽団の木管五重奏が全日本アンサンブルコンテスト(社団法人全日本吹奏楽連盟主催)で金賞を受賞し、市役所ロビー(現在の美術コーナー)で記念コンサートを開催したことがきっかけとなり、同年7月から始まった。100回記念となった平成14年12月には、ニューフィルハーモニーオーケストラ千葉のコンサートマスター本庄篤子さんを迎え、ピアノ三重奏曲を演奏していただいた。平成19年6月には150回を迎え、平成24年1月には第200回、平成28年7月に第250回を実施した。	屋の憩いのひとときに、市民及び市職員にさわやかな音楽と安らぎを提供するとともに、音楽の生演奏に触れることによって音楽文化に関心を持ってもらう機会とするため、月に1回(8月を除く)、市役所1階ロビーで質の高い音楽の演奏会を実施します。	アンケートの満足度 【90%以上】	【決算額 306,989円】 【指標値実績 95.2%】 開催日:毎月第3水曜日(8月を除く) 開催回数:10回 出演者数:10組14人 観覧者数:859人 特記事項:3月のロビーコンサートがコロナウイルス感染症拡大防止対策のため中止となったことにより、出演者謝礼や調律代が減額となった。	月1回の開催日が定着しており、毎回楽しみにしているピーターも多いようである。若い演奏家の発掘であったり、発表の場として育成にもつながり、これからもぜひ続けてほしい事業。できればロビーが他の催しと重ならないようにしてほしい。今年にはコロナ禍の中ずっと中止となっており残念。	【決算額 103,535円】 【指標値実績 81.6%】 開催日:毎月第3水曜日(8月を除く) 開催回数:2回 出演者数:2組 5人 観覧者数:99人 特記事項:4月～10月及び1月～3月は新型コロナウイルスの影響で中止となった。 中止となった出演者には、令和3年度ロビーコンサートに出演してもらう予定。	
4	基本目標 I 気づき始める施策 ① 気軽に多様な文化に触れることができる機会の提供	市民ギャラリー・茶華道センター主催事業	文化課(指定管理)	普段茶華道センターに来る機会のない人にも、茶華道センターに立ち寄ってほしいと企画	スクエア寄席 日本伝統芸能である寄席を楽しむ。	観客数 【1開催100人】	【決算額 172,800円】 【指標値実績 93名】 第1回令和元年8月3日(土)参加者数93名 出演者 真打 桂やまと ※3月はコロナウイルス対策のため中止		【決算額 0円】 【指標値実績 0名】令和2年度はコロナウイルス対策のため中止	
5	基本目標 I 気づき始める施策 ① 気軽に多様な文化に触れることができる機会の提供	ふなばし市民活動フェア	市民協働課	市民活動団体が日々の活動内容を紹介することにより、これからボランティア活動を始めたい人が、市内の市民活動団体について知ることができるきっかけを提供するイベントとして、平成20年度より開催している。	地域へ第一歩を踏み出そうとする方々などに対して、市民活動やボランティア活動など様々な社会貢献活動に参画するきっかけの場を提供するためのイベントを実施している。	当日来場者数 【600人】	【決算額 188,200円】 【指標値実績 当日来場者数約600人】 第12回ふなばし市民活動フェア ～来て、見て、参加～ ・開催日時 令和2年2月1日(土) 11:00～16:00 ・参加団体数 50団体 ・内容 市民活動団体によるパネル展示、ブースでの活動紹介 など	郷土資料館のガイドボランティアや文化財・史跡巡りの観光ガイドボランティアを市民活動として作れないだろうか。	【決算額 0円】 【指標値実績 】 ※感染症感染拡大防止を目的に中止	
6	基本目標 I 気づき始める施策 ① 気軽に多様な文化に触れることができる機会の提供	ふなばし健やかプラン21推進事業	健康政策課	平成17年3月、健康増進法第8条に基づき市町村健康増進計画として、「ふなばし健やかプラン21」を策定。市民の健康づくりがどのように行われ、広がったかを、市民・行政で共有し、評価するとともに、今後の推進について検討する「推進評価委員会」、市民の健康づくりを市民の立場から推進する「市民運動推進会議」、健康づくりのために必要な環境や支援を検討する「市内推進委員会」の3つの組織をつくり、計画の推進を図っている。	運動・スポーツに関するイベントや講座の開催をはじめ、市民が主体的に健康づくりに取り組めるよう、ふなばし健やかプラン21を推進する。	健康まつり来場者数 【7,000人】 健康フォーラム参加者数【71人】	【決算額 4,985,162円】 【指標値実績 健康まつり来場者数6,000人、健康フォーラム参加者145人】 ①「ふなばし健康まつり」 開催日:令和元年11月3日(日) 会場:船橋市運動公園 ブース出展:39団体 ステージ出演:10団体 地産地消コーナー・模擬店:11団体 ②「健康フォーラム」 開催日:令和2年1月18日(土) 会場:船橋市役所 テーマ:スッキリと目覚めましたか?～睡眠について知ってほしいこと～ 講師:公益財団法人神経研究所 精神神経科学センター センター長 高橋 清久		【決算額 576,600円】 【指標値実績 健康フォーラム参加者数(動画視聴回数)延べ444回】 ①「ふなばし健康まつり」【中止】 新型コロナウイルス感染症感染拡大防止のため中止。 ②「健康フォーラム」【動画配信】 開催日:令和3年3月15日(月)～ テーマ:みんなで目指そう健康寿命の延伸～withコロナ時代の健康づくりのポイント～ 講師: ・千葉大学客員教授 矢島鉄也 氏 ・ふなばし健やかプラン21推進評価委員会 会長 亀田義人 氏	

指標値は平成29年度の来場者数とする。
事業を適切に評価できる指標値として、イベントの参加者数に変更した。

NO.	基本目標	事業名	担当課	開催経緯等	事業概要	指標値	R1事業実績	R1協議会から特記事項	R2事業実績	R2協議会から特記事項
7	基本目標Ⅰ気づき始める施策 ① 気軽に多様な文化に触れることができる機会の提供	社会教育バス	社会教育課	社会教育バスは、昭和48年より、主に社会教育関係団体の研修に利用されており、平成26年10月には、市の所有するバスを廃車し、以後、民間のバスを借り上げて運行をしている。	市の社会教育施設や市内の社会教育関係団体を対象として、組織的な社会教育活動を援助するため、「動く教室」として運行している。	運行台数【160台】	【決算額 10,862,950円】 【指標値実績 126台】 運行率 49% 利用者数 4,856人		【決算額 0円】 【指標値実績 0台】 ※R2年度は新型コロナウイルス感染症の影響により、実施しなかった。	
8	基本目標Ⅰ気づき始める施策 ② 効果的に情報発信する仕組みの構築	船橋市生涯学習ガイドブック「楽しく学ぼうふなばし」	社会教育課	船橋市等が行っている、市民を対象とした生涯学習機会の情報を知る手だてがなかった為、平成11年度以来、社会教育課でとりまとめ1冊の冊子にまとめている。	船橋市等が行っている市民を対象とした生涯学習事業をまとめた冊子を年3回発行し、ホームページにも掲載することで、自主的に「何かを学びたい」「体験したい」という要求に応えることを目的としている。	事業掲載数【2,350事業】	【決算額 0円】 【指標値実績 1729事業】 第58号(平成31年4月～7月) 505事業掲載 第59号(令和元年8月～11月) 686事業掲載 第60号(令和元年12月～3月) 538事業掲載		【決算額 0円】 【指標値実績 754事業】 第61号(令和2年4月～7月) 500事業掲載 第63号(令和2年12月～3月) 254事業掲載 ※第62号は掲載数大幅に減少したため、発行中止とした。	
9	基本目標Ⅰ気づき始める施策 ② 効果的に情報発信する仕組みの構築	魅力発見サイト FUNABASHI Style	広報課	平成28年3月のホームページ再構築に伴い、既存の市ホームページに混在していた、船橋の魅力を市内外に発信するコンテンツのみを独立させ、新ホームページを設置した。	「食べる」「見る」「遊ぶ」等の船橋の魅力を市内外に発信する。	市の情報をホームページで入手している人の割合(市民意識調査)【18%】	【決算額 0円】 【指標値実績 20.1%】 「ふなばし市民まつり」や「ふなばし三番瀬海浜公園の潮干狩り」など船橋の魅力を31記事作成し、公開した。		【決算額 0円】 【指標値実績 25.8%】 「船橋市デジタルミュージアム」や「船橋の海苔」など船橋の魅力を31記事作成し、公開した。	
10	基本目標Ⅰ気づき始める施策 ② 効果的に情報発信する仕組みの構築	ロケーションガイド ふなばし撮おりゃんせ	広報課 ↓ R3～商工振興課	これまで各施設が行ってきた撮影対応を広報課に一元化して平成27年5月に事業開始し、同時にWEBサイトを設置した。	船橋市内にある様々な魅力的なロケーションを活用し、テレビドラマや映画等の撮影に提供することで、シブクプライドを醸成するとともに、施設を有効活用し、当該施設に関わる市職員や市民のモチベーションを高めることを目的とする。	利用件数【26件】	【決算額 0円】 【指標値実績 71件】 映画『Fukushima 50』やドラマ『監察医 朝顔』などの撮影支援を行った。		【決算額 0円】 【指標値実績 47件】 ドラマ『BG～身辺警護人～』や『俺の家の話』などの撮影支援を行った。	
11	基本目標Ⅰ気づき始める施策 ② 効果的に情報発信する仕組みの構築	文化イベント情報紙「BUNBUN Funabashi」	文化課	文化振興基本方針で掲げている重点プロジェクトの一端として、市内の文化施設がそれぞれ発信していた情報をまとめ、よりわかりやすい情報紙を作成する。	市内の各文化施設が発信していた情報をひとつにまとめたWeb版フリーペーパー「BUNBUN Funabashi」を年6回発行する。	ホームページ閲覧件数【月500件】	【決算額 0円】 【指標値実績 7,040件】 2か月に1度のペースで発行。市内文化施設に若干紙媒体で配布した。 公民館での掲示はA3サイズで行っており、これ以上のサイズでの印刷は印刷機の都合上現時点では難しい。	公民館でのイベントカレンダーの掲示は小さいので、分割印刷をしてA2サイズにできないだろうか。	【決算額 0円】 【指標値実績 9,740件】 2か月に1度のペースで発行。市内文化施設に若干紙媒体で配布した。 新型コロナウイルスの影響により、ほとんどのイベントが掲載できなかったが、コロナ禍で各施設が取り組んだ内容を中心に作成し、発行することができた。	一目でホールや郷土資料館、博物館、ギャラリーなどのイベントがわかるのでも重宝している。
12	基本目標Ⅱ学び楽しむ施策 ① 文化活動に主体的に取り組むための環境の整備と充実	船橋市文学賞/文学講座	文化課	市民の日常的な文学活動の活性化を通して、豊かな市民生活の創造に資することを目的とし、昭和63年に創設。	船橋市における文芸活動の振興を図るため、小説・児童文学・詩・短歌・俳句の各部門の作品を公募し、特に優れた作品を選挙(文学賞、佳作を選考)する。 また、授賞式と懇談会を開催して選者と受賞者の交流の場を設けており、文学賞、佳作を受賞した作品は、「船橋市文学賞作品集」として編集し、有償頒布している。 船橋市文学賞選者により、一部門ごとに毎年度、講座(講習)を実施し、船橋市文学賞への募集への一助としている。	応募作品数【150作品】	①文学賞・文学講座【決算額 2,676,751円】 【指標値実績 168作品】 【応募期間】 6月15日(土)～9月30日(月) 【応募作品】168作品(小説28、児童文学15、詩86、短歌16、俳句23) 【受賞】文学賞5 佳作10 ②文学講座(児童文学部門:角野栄子氏) 【開催日】6月6日(木)14時～16時 【会場】中央公民館 【参加人数】35名		①文学賞・文学講座【決算額 2,580,089円】 【指標値実績 138作品】 【応募期間】 6月15日(月)～9月30日(水) 【応募作品】138作品(小説42、児童文学26、詩32、短歌15、俳句23) 【受賞】文学賞4 佳作10 ②文学講座(詩部門:中谷順子氏) 新型コロナウイルス感染症拡大防止対策により、中止となった。	
13	基本目標Ⅱ学び楽しむ施策 ① 文化活動に主体的に取り組むための環境の整備と充実	図書館主催事業	西図書館	平成25年1月に策定した「船橋市図書館サービス推進計画」では、市民の読書機会を提供する施設として、その機能やサービス体制の充実を図り、また、地域の情報拠点として、市民の「読みたい・調べたい・学びたい」に応える図書館を目指すとしている。 図書館では、多様なテーマによる図書展示や図書館講座、子供の読書活動を推進するためのおはなし会や読み聞かせ、西図書館が所蔵する浮世絵や古地図などの貴重資料を展示する「船橋市図書館所蔵資料展」等、様々な主催事業を開催している。 さらに、平成28年度からは船橋市立医療センターと連携した医療講演会・相談会を開催しているほか、平成29年度からは1歳6か月児健康診査を受診した子供を対象とした「セカンドブック事業」を新たに開始するなど、幅広い世代を対象とした事業や関係機関との連携強化を図る事業を実施している。	「船橋市図書館サービス推進計画」で掲げる、市民の「読みたい・調べたい・学びたい」に応える図書館を目指し、各種事業を実施することで、地域の課題解決への貢献、市民への多様な学習機会の提供、関係機関との連携強化の推進等に取り組む。	参加者数【15,000人】	【決算額 387,500円】 【指標値実績 16,974人】 実績については別紙のとおり 特記事項:2月から新型コロナウイルス感染症拡大防止対策のため事業が中止となったことにより、参加者数が前年度に比べて減となった。		【決算額 30,000円】 【指標値実績 979人】 実績については別紙のとおり 特記事項:11月1日から12月25日の期間を除き、新型コロナウイルス感染症拡大防止対策のため事業が中止となったことにより、参加者数が前年度に比べて大幅減となった。	
14	基本目標Ⅱ学び楽しむ施策 ① 文化活動に主体的に取り組むための環境の整備と充実	各種芸術文化事業の主催及び共催【船橋市三曲祭】	文化課	昭和53年箏・三絃・尺八の愛好家により、邦楽の普及を目的として船橋市三曲協会が結成され、以後毎年三曲祭を開催している。(平成29年度第40回) また、共催事業として、伝統文化を身近に感じてもらうため公民館にて箏・三絃・尺八による芸術劇場を実施。	伝統的な邦楽器として最も一般的な楽器である箏・三絃(三味線)・尺八からなる三曲を市民が鑑賞し親しんでもらうとともに、愛好者に発表の場を設けることで芸術文化の振興に寄与する。	来場者数【300人】	【決算額 90,720円】 【指標値実績 710人】 令和元年6月2日(日曜日) 13時30分開演(13時開場)～17時15分終演 出演:船橋市三曲協会、市立船橋高等学校吹奏楽部ほか 入場料:無料 参加者:145人 主催:船橋市三曲協会、船橋市教育委員会		【決算額 0円】 【指標値実績 0】 令和2年6月7日(日曜日) 13時00分開演～17時00分終演 新型コロナウイルスの感染拡大防止の理由により、中止となった。	
15	基本目標Ⅱ学び楽しむ施策 ① 文化活動に主体的に取り組むための環境の整備と充実	各種芸術文化事業の主催及び共催【船橋市日舞祭】	文化課	昭和38年に日本舞踊各流派からなる船橋市日本舞踊連盟が設立され、市と両主催により毎年「船橋市日舞祭」を実施している。	日本伝統文化である日本舞踊の発表の場を設けることにより、団体の活動支援及び育成を図るとともに、日本舞踊の継承及び芸術文化の振興を図る。	来場者数【300人】	【決算額 3,047,520円(市予算48,000円/船橋市日本舞踊連盟3,000,000円)】 【指標値実績 800人】 開催日:令和元年7月7日(日) 参加人数:44人 主催:船橋市日本舞踊連盟、船橋市教育委員会		【決算額 0円】 【指標値実績 0】 令和2年7月5日(日曜日) 12時30分開演(12時00分開場)～17時30分終演 新型コロナウイルスの感染拡大防止の理由により、中止となった。	

NO.	基本目標	事業名	担当課	開催経緯等	事業概要	指標値	R1事業実績	R1協議会から特記事項	R2事業実績	R2協議会から特記事項
16	基本目標Ⅱ学び楽しむ施策 ① 文化活動に主体的に取り組むための環境の整備と充実	各種芸術文化事業の主催及び共催【船橋市いけばな展】	文化課	市主催のいけばな展が契機となり、昭和53年に各流派合同で船橋市社会教育関係団体一全市団体として船橋市華道連盟が設立され、以後「いけばな展」「初春船橋華道展」毎年開催。また、同連盟により船橋アリーナサブアリーナエントランス及び飛ノ台史跡公園博物館に毎月生け花が無償で展示されている。	華道を学ぶ方の発表の場とするともに市民が鑑賞し親しむことで、日本の伝統文化である華道を伝承し、芸術文化の振興に寄与する。	出瓶者数/来場者数【230人/2,100人】	【決算額 1,118,604円(市予算:1,063,920円/船橋市華道連盟負担金:149,904円)※収入(出瓶料・体験学習花材費)208,000円】 【指標値実績 208人(前期:92名、後期:111名、通期:5名)/1,781人 (前期:645名、後期:1,136名)】 会期:令和元年10月1日(火)～10月6日(日)午前10時～午後6時30分(前期 10月1日(火)～10月3日(木)10月3日は、午後3時まで/後期 10月4日(金)～10月6日(日)10月6日は、午後5時まで 会場:船橋市民ギャラリー		【決算額 0円】 【指標値実績 0】 会期:令和2年9月29日(火)～10月4日(日) 会場:船橋市民ギャラリー 新型コロナウイルスの感染拡大防止の理由により、中止となった。	
17	基本目標Ⅱ学び楽しむ施策 ① 文化活動に主体的に取り組むための環境の整備と充実	各種芸術文化事業の主催及び共催【船橋市合唱祭】	文化課	昭和30年に中央公民館(S30.11.1開館)の落成記念として開催され、前身となる連絡協議会が設立された。その後昭和59年(創立30周年)に「船橋市合唱連盟」となる。以降年1回教育委員会主催により連盟加盟団体だけでなく小中学校合唱部などを招待し、出演してもらうなど交流を図っている。	広く市民に合唱の楽しさを紹介し、音楽活動振興の一助とすると共に合唱団体相互の交流を図る。	来場者数【450人】	【決算額 212,934円】 【指標値実績 455人】 ・令和元年12月1日(日曜日) ・10時開演(9時40分開場)～18時終演 ・出演:船橋市合唱連盟会員、市内小中学校ほか ・入場料:無料 ・参加者:1,085人 ・主催:船橋市合唱連盟、船橋市教育委員会	いま合唱団はコロナ禍の中で歌うこともできず、練習は中止状態が続いており、これが続けばますます合唱人口の減少が懸念される。各団の努力ではどうにもならない所まで来ていると感じる。この先コロナ禍での合唱はどうすべきか検討されたい。	【決算額 0円】 【指標値実績 0】 令和2年12月6日(日曜日) 新型コロナウイルスの感染拡大防止の理由により、中止となった。	度重なる緊急事態宣言やまん延防止措置により、団の活動を休止していたり、練習を午後に変えたため仕事を待つ人が参加できなくなったりしている。一番飛沫の飛ぶ活動なので仕方ないが、益々合唱人口が減ってしまいうそで心配である。
18	基本目標Ⅱ学び楽しむ施策 ① 文化活動に主体的に取り組むための環境の整備と充実	各種芸術文化事業の主催及び共催【船橋市写真展】	文化課	市主催の写真展が契機となり、昭和58年に船橋市社会教育関係団体(全市団体)として船橋市写真連盟が設立され、以後「船橋市写真展」「会員展」を毎年開催。	写真を学ぶ方の発表の場とするともに、地域の写真文化の普及向上に貢献することに寄与する。	来場者数【1,200人】	【決算額 922,158円(市予算:633,264円/船橋市写真連盟負担金:32,794円)※収入(出品料)256,100円】 【指標値実績 1,079人】 会期:令和2年2月15日(土)～2月23日(日) 表彰式・解説会:2月23日(日曜日) ※新型コロナウイルス感染拡大防止対策のため、解説会は中止 会場:船橋市民ギャラリー 出品点数 436点/ 出品者数 212点/ 入賞者数 45人 主催:船橋市写真連盟、船橋市教育委員会		【決算額 194,552円】 【指標値実績 2698回(視聴回数)】 コロナウイルス感染症対策のため、市民ギャラリーでの展覧会に代え、プリント応募コンテスト及び市HPで作品を公開するWeb展覧会とした。 Web公開:令和3年2月22日(月)～3月31日(水)市HPで部門別の作品動画(スライドショー形式)をYoutubeにて公開 出品点数 352点/ 出品者数 202点/ 入賞者数 38人 入賞作品展:令和3年4月19日(月)～23日(金)市役所1階美術コーナーで入賞作品を展示	
19	基本目標Ⅱ学び楽しむ施策 ① 文化活動に主体的に取り組むための環境の整備と充実	各種芸術文化事業の主催及び共催【船橋市美術展覧会「市展」】	文化課	昭和38年より船橋市美術連盟と船橋市教育委員会の共催により「船橋市美術展覧会」を毎年開催している。	船橋市美術連盟との共同主催による公募展。日本画・洋画・彫塑・工芸・書道の5部門に例年約500点の作品が出品される。	出品者数【400人】	【決算額 1,364,038円(市予算:1,190,782円/船橋市美術連盟負担金173,256円)※収入(出品料)582,000円】 【指標値実績 468人】 会期:前期 10月30日(水)～11月5日(火)洋画・彫塑/後期 11月7日(木)～12日(火)日本画・工芸・書道 会場:船橋市民ギャラリー 授賞式・懇親会:11月9日(土) 会場:船橋グランドホテル 入場者数:3,507人 主催:船橋市美術連盟、船橋市教育委員会		【決算額 0円】 【指標値実績 1846回(視聴回数)】 コロナウイルス感染症対策のため、市民ギャラリーでの展覧会に代え、「バーチャル市展」として市HPで作品を公開するWeb展覧会とした。 Web公開:令和2年10月28日(水)～11月30日(月)市HPで部門別の作品動画(スライドショー形式)をYoutubeにて公開 出品点数 101点(1人につき1点) 主催:船橋市教育委員会	
20	基本目標Ⅱ学び楽しむ施策 ① 文化活動に主体的に取り組むための環境の整備と充実	ふなばし市民まつり	商工振興課	昭和43年度より産業まつりを「市内の商業、工業、農業の優秀な生産品と観光の現況を広く市民に紹介し、市民の協力と理解を得ながら実施されていくものであり、これらの産業の躍進ぶりを広く紹介し、商品販路を広げ、産業の振興を図り、併せて市民生活を向上させていくものとして」開催するようになった。平成15年度より名称を「市民まつり」として市民主体を目指し、開催されている。	「さまざまな産業がいきているまち・ふなばし」で学び、働き、暮らす人たちが力を合わせ、皆で「まつり」をつくり、参加することにより「活気とにぎわい」のあふれるふるさと・ふなばしを実現するため、ふなばし市民まつりを開催する。	来場者数【733,000人】	【決算額 57,653,175円】 【指標値実績 636,137人】 開催日:7月26日～28日、31日 ①めいど・いん・ふなばし ②ジョイ&ショッピングフェア ③ふれあいまつり ④船橋港親水公園火花火大会		【決算額 円】 【指標値実績 -】 令和2年度は東京2020オリンピック・パラリンピック開催延期の影響に伴い、警察の配置や警備員の確保が難しく、ふなばし市民まつりを安全に開催するための十分な体制を整えられないことから中止となった。	
21	基本目標Ⅲ育みつなげる施策 ① 子供が文化に触れ、感動を得て、楽しむための取組の充実	楽器貸与事業	指導課	「創意と工夫ある教育」「特色ある学校づくり」の一環として、昭和56年度より開始した。貸与年数9年を経た楽器については指導課備品から学校備品へ保管転換を行っていたが、平成28年度からは保管転換をせず指導課備品として扱うこととなった。	音楽科の授業を基盤として、一層充実した音楽活動を展開することにより、音楽部員のみならず、全校児童生徒の音楽環境の向上を図る。また、「創意と工夫ある教育」「特色ある学校づくり」の一環として、地域や学校行事の中で、生活に根ざした音楽活動を展開することによって、児童生徒に学校生活の楽しさを味わわせ、情操の涵養を図る。平成30年度の貸与楽器数は75台であり、今までに2058台の貸与ができています。	貸与希望校数に対する貸与率【100%】	【決算額 17,949,560円】 【指標値実績 100%】 音楽科の授業の充実した音楽活動を展開することができた。また、今年度も日本の伝統楽器(箏、太鼓)の購入をすることができ、伝統音楽の授業に役立たせることができた。令和元年度の貸与楽器数は81台であり、今までに2139台の貸与ができています。	音楽が盛んな街にするには、まず子供たちから音楽を好きになってもらい、家庭に広げ、市民全体に広がっていくことが良いと思う。音楽活動を盛んにするにも、必要な楽器はとて高額である。子供たちに演奏する機会を与えるためにも、学校に楽器を準備してあげることが必要と考える。	【決算額 17,985,770円】 【指標値実績 100%】 音楽科の授業の充実した音楽活動を展開することができた。また、今年度も日本の伝統楽器(箏、尺八)の購入をすることができ、伝統音楽の授業に役立たせることができた。令和2年度の貸与楽器数は60台であり、今までに2201台の貸与ができています。	
22	基本目標Ⅲ育みつなげる施策 ① 子供が文化に触れ、感動を得て、楽しむための取組の充実	造形作品展	指導課	絵画を中心とした平面作品は、巡回展、夢・アート展等で発表していたが、立体作品の発表の場がなかった。中学校美術部会では、独自に中学校美術科作品展を勤労市民センター等で開催していた。平成5年2月に船橋市民ギャラリーがオープンしたのをきっかけに、小中学校合同の造形作品展となった。平成6年度、小中学校が統一した展覧会名「船橋市小・中・養護学校造形作品展ー子供たちの色・形・夢ー」として行った。	絵画作品を中心とした展示や発表の場は各種コンクールを中心に極めて多いが、立体表現の発表の場は少ないことから、立体造形の表現力の育成も重視していかなければならない。そこで、市内小・中・特別支援学校の児童生徒の立体作品の展示の場を設け、立体作品の教材や題材についての研究の機会とする。また、児童生徒の造形意欲や鑑賞力の向上を目指しながら、船橋市の図画工作・美術教育の一層の充実を図っていく。	来場者数【7,500人】	【決算額 282,040円】 【指標値実績 8,100人】 小・中・特別支援学校の児童・生徒が参加し、児童・生徒の立体的な作品を中心に、3,667点を展示した。来館者は年々増加し、船橋の子供たちの豊かな造形表現を示す価値ある展覧会として定着している。令和元年度の入場者数は8,100人。 ・造形作品展については、保護者のみならず、市民の関心が高く、小・中学生の発達段階に応じた創造的な表現に触れ、「子供たちの作品の完成度に驚いた。発想が独創的な作品もあり思った以上に楽しめました。」等の市民からの感想が届いている。		【決算額 0円】 【指標値実績 0人】 本年度は新型コロナウイルス感染症拡大防止のため市民ギャラリーでの開催を中止し、オンラインによる開催となった。 開催期間:令和3年2月19日～3月31日 閲覧数:約7000回	

NO.	基本目標	事業名	担当課	開催経緯等	事業概要	指標値	R1事業実績	R1協議会から特記事項	R2事業実績	R2協議会から特記事項
23	基本目標Ⅲ育みつながる施策① 子供が文化に触れ、感動を得て、楽しむための取組の充実	夢・アート展	指導課	船橋市内の公立小・中・特別支援学校の児童生徒が、図工・美術の授業の中で取り組んだ代表作品(各学校6～8点)を展示する。この催しは、昭和40年代の「小・中学校写生会・巡回展」を発展させたものであり、平成5年度に現在の名称「夢・アート展」に変更し、平成11年度まで「船橋市民ギャラリー」で開催。平成12年度からは、会場を「アンデルセン公園子ども美術館」に移し開催。	児童生徒の夢や願いを多様な平面作品に表すことを通して、豊かな情操を養うとともに創造的表現力の伸長を図る。各校の作品展と夢・アート展を通して、児童生徒の鑑賞力の向上と指導者の作品評価及び指導法の改善に資する。	来場者数【5,000人】	【決算額 210,007円】 【指標値実績 4,713人】 令和元年度は、8月2日から22日まで21日間アンデルセン公園子ども美術館で開催。令和元年度出品作品577点。来館者数4,713名(前年度5,156名)で443名減。 ①立体的な作品や額からはみ出ている作品は作品保護の観点から巡回に耐えられないと判断し当該校に返却している。しかし、現在ほとんどの学校が平面的な作品を制作している。 ②研修会の実施方法として、小学校では講師と講師補助の二人体制として二つのグループに分けて実施し、図工主任の解説⇒参加者の意見⇒講師講評という形で進めている。中学校においても同様の進め方を行っている。 ③巡回展については、今後も作品の紛失や破損がないよう十分配慮した企画・運営にする。		【決算額 0円】 【指標値実績 0人】 本年度は新型コロナウイルス感染症感染拡大防止のため開催中止となった。	
24	基本目標Ⅲ育みつながる施策① 子供が文化に触れ、感動を得て、楽しむための取組の充実	小・中学校音楽教育合唱委託事業	指導課	小中学校合唱発表会は令和元年度で第33回を迎える。昭和62年から発表会の中でプロの合唱団による鑑賞会を実施している。	プロの演奏の鑑賞の機会を設けることにより、その素晴らしさを感じさせ、情操教育の充実を図る。	公演数【30分公演×2回】	【決算額 942,857円】 【指標値実績 30分公演×2回】 小中学校合唱発表会で午前の部と午後の部の2回、公演をお願いし、参加校の出演児童生徒の情操教育や発声やハーモニーなどの技術の充実を図ることができた。 開催日:11月14日(土) 参加者数:約1,110人 入場者数:約1,200人	小・中学校の合唱技術の向上のためには、プロの素晴らしい合唱を鑑賞することはとても大切である。これからも続けてほしい。	【決算額 0円】 【指標値実績 評価不能】 新型コロナウイルス感染症対策で小中学校合唱発表会を中止したため。	
25	基本目標Ⅲ育みつながる施策① 子供が文化に触れ、感動を得て、楽しむための取組の充実	学校音楽鑑賞事業	指導課	昭和58年度から実施している。開催費用の1/3は県の補助を受け、2/3を市の負担で支出している。保護者の負担はない。平成15年より文化課から指導課の事業となった。	小中学生の情操の涵養を図るため、優れた音楽を鑑賞する機会を提供し、もって芸術活動への参加の気運を醸成する。	実施校数【9校】	【決算額 4,640,000円】 【指標値実績 8校】 プロのオーケストラである千葉交響楽団を各学校に招き演奏していただくことで、音楽の楽しさ、素晴らしさ、楽器の知識・理解を深めることにつなげることができた。特別支援学校での実施も行うことができた。	この機会にしかオーケストラを聴けない児童生徒もいる。全小・中学校・支援学校83校すべてを9年間で回ってほしいが、できれば校数を増やして実施してほしい。それもできない場合は部活でオーケストラや吹奏楽等がなく、楽器を見る機会のない学校を優先してあげたい。楽器を知るには生で見て聴くのが一番である。	【決算額 4,736,000円】 【指標値実績 8公演(5校)】 プロのオーケストラである千葉交響楽団を各学校に招き演奏していただくことで、音楽の楽しさ、素晴らしさ、楽器の知識・理解を深めることにつなげることができた。新型コロナウイルス感染症対策により3校から辞退の申し入れがあったが、その分を大規模校である3校に分け、密を避けて実施することができた。	
26	基本目標Ⅲ育みつながる施策① 子供が文化に触れ、感動を得て、楽しむための取組の充実	小・中・特別支援学校書写展覧会	指導課	千教研書写部会・中学校国語部会の協力を得て、各学校において校内書写展覧会を実施した上で、各学校の各学年1点(小学校6点、中学校3点、特別支援学校9点)の書写作品を、市民ギャラリーにおいて展示している。小学校1・2年生は硬筆作品、3年以上、及び中学校が毛筆の作品、原則として、授業で学習した教材が望ましいとしている。平成10年度から18年度まで総合教育センターで行っていたが、平成19年度より市民ギャラリーを会場としている。	国語科書写指導の一環として展覧会を行い、書写に対する意欲の高揚と技術の向上を図る。	来場者数【2,000人】	【決算額 340,000円】 【指標値実績 約1,773名】 開催日:令和2年1月15日(水)～1月20日(月) 会場:船橋市民ギャラリー 来場者:1,773人		【決算額 243,542円】 【指標値実績 0名】 新型コロナウイルス感染症拡大により、市民ギャラリーでの開催中止。 三賞(市長賞・市議会議長賞・教育長賞)受賞の6作品のみ、本庁舎1階ロビーにて展示。 展示期間:令和3年2月15日(月)～19日(金)	
NEW 27	基本目標Ⅲ育みつながる施策① 子供が文化に触れ、感動を得て、楽しむための取組の充実	船橋市文化部活動指導員派遣事業	指導課	国が平成29年4月に部活動指導員の制度化を行い、その後、県のモデル事業を経て、各市町村での実施が可能となった。船橋市では、平成31年度から運動部活動指導員の派遣を、令和2年度から文化部活動指導員の派遣を開始した。	中学校の文化部活動に所属している生徒への専門的な指導や教職員の働き方改革を行うため、学校教育法施行規則第78条の2に基づき「中学校におけるスポーツ、文化科学等に関する教育活動(学校の教育課程として行われるものを除く)に係る技術的な指導に従事する」部活動指導員を学校の職員として配置する。	派遣指導員数【10人】 中学校数 の3/1以上		【決算額 682,955円(市予算:284,955円/教育費県補助金:398,000円)】 【指標値実績 6人】 ※国・県・市(部活動指導員の報酬を1/3ずつ負担する)※交通費等は除く 配置校・人数(部活動名) ・宮本中学校・2人(管弦楽部・箏曲部) ・海神中学校・2人(吹奏楽部・合唱部) ・三山中学校・1人(吹奏楽部) ・若松中学校・1人(吹奏楽部)	中学校の部活動は教師にとってもかなり負担になっている。特にコンクールを目指すような部活ではプロの専門的な指導が必要である。正しい基礎を身に着けるには正しい指導が必要で、生徒の将来にも影響がある。	
28	基本目標Ⅲ育みつながる施策① 子供が文化に触れ、感動を得て、楽しむための取組の充実	姉妹都市等交流事業	国際交流課	昭和61年11月7日に本市にとって最初の姉妹都市提携をアメリカ・ハイワード市と結び、デンマーク・オーデンセ市(平成元年4月6日)、中国・西安市(平成6年11月2日)とそれぞれ姉妹・友好都市提携を結んできた。これらの提携に基づいてテーマ毎の交流を行っている。	船橋市民を中心に広く国際交流親善についての理解と関心を高め、かつ、積極的に地域に根ざした各種交流事業を行うことを目的とする。	参加人数【500人】	【決算額 3,998,949円】 【指標値実績 979人】 特記事項:西安市との友好都市提携25周年に関する記念事業も行った。(※R1年度はオーデンセ市との姉妹都市提携30周年でもあったが、オーデンセ市の来日が叶わなかったため、記念事業については西安市のみ行った。)	姉妹都市との交流事業だけでなく、音楽・美術・文芸その他の記念行事にも関心を寄せてほしい。船橋でも美術館やコンサートに国際的な記念事業は多く開催されている。そのような時に交流協会にも是非協力してほしい。	【決算額 36,960円】 【指標値実績 86人】 特記事項1 船橋市国際交流協会のR2年度新規事業として「船橋&ハイワード姉妹都市バーチャル交流会」(無料)を実施した。(2回 参加者合計86人) 特記事項2 新型コロナウイルスの影響で、その他に計画していた交流事業をすべて中止したため、R2決算額は、例年、姉妹都市交流関係者へ送付しているグリーティングカード代のみ。	R2年11月から「船橋・ハイワードバーチャル交流会」を隔月で開催している。9月11日に開催される第5回交流会では、船橋・ハイワード両市長の対談を予定している。11月の第6回交流会では姉妹商工会議所である船橋・ハイワード両会議所の両会頭の対談を企画している。
29	基本目標Ⅲ育みつながる施策② 市民が主体的に文化に関わりつながりを持てる仕組みの構築	ハッピーサタデー事業	青少年課	完全学校5日制実施に伴い、自宅で過ごす子供たちの活動場所の提供として事業が始まる。	原則毎月第3土曜日を「ふなばしハッピーサタデー」の日として、市内26公民館が地域の団体、町会・自治会、学校と連携を図りながら、子供たちがスポーツや文化活動に親しむことを目的に、様々な事業を実施している。	延べ参加者数【70,000人】	【決算額 2,796,528円】 【指標値実績 31,752人】 開催回数:251回 特記事項:台風や新型コロナウイルスの影響で、開催できない事業があった。3月の子どもまつり等、参加人数の多い事業が中止になったため、参加人数が例年より少なくなっている。		【決算額 618,363円】 【指標値実績 598人】 開催回数:29回 特記事項:新型コロナウイルス感染症感染拡大防止のため、事業を中止(4月～10月、1月～3月)したため、参加者が大幅に減った。	

NO.	基本目標	事業名	担当課	開催経緯等	事業概要	指標値	R1事業実績	R1協議会から特記事項	R2事業実績	R2協議会から特記事項
30	基本目標Ⅲ育みつながる施策② 市民が主体的に文化に関わりつながりを持てる仕組みの構築	障害者週間記念事業(作品展)	障害福祉課	障害者基本法第9条に基づく、障害者週間を記念して、障害者週間記念事業を開催している。本事業では、障害者が製作した作品の展示等を行う。	障害者週間を記念して、市民に障害者福祉についての関心と理解の向上とともに、障害者自身が社会参加する意欲を高めるために啓発事業を実施する。	来場者数【2,000人】	【決算額1,175,133円】 【指標値実績 3,939人】 開催日:令和元年11月22日・23日 開催場所:ららぽーと中央広場		【決算額1,220,295円】 【指標値実績 2,746人】 開催日:令和2年11月13日・14日 開催場所:ららぽーと中央広場	
31	基本目標Ⅲ育みつながる施策② 市民が主体的に文化に関わりつながりを持てる仕組みの構築	文化団体意見交換会	文化課	平成28年度に「文化振興基本方針」の策定にあたり、市民より意見を聴取するため、「子供・青少年に対する取組」をテーマに社会教育関係団体に登録のある文化団体による意見交換会が開催された。そこで、各団体の情報の共有や意見交換の場が必要であるとの共通認識を持ったことから、継続的に文化団体の意見交換会を実施し、文化振興の体制づくりを推進することとした。	意見交換会を通じて、文化団体間の連携・協力を推進し、市民が主体となって本市の文化振興を図る一助とする。	参加団体数【25団体】	【決算額 0円】 【指標値実績 14団体】 出席者 18名 開催日時 令和2年1月23日(木) 開催場所 船橋市役所11階 大会議室		【決算額 0円】 【指標値実績 -】 新型コロナウイルスの影響により開催を見合わせた。	
32	基本目標Ⅲ育みつながる施策② 市民が主体的に文化に関わりつながりを持てる仕組みの構築	生涯学習サポート事業	社会教育課	自主的に「何かを学びたい、体験したい」と思っている人と、自分の技能や知識をボランティアとして生かしたいと思っている人とを結び付け、生涯学習の機会を増加させるため、平成13年度より開始した。	自分の技能や知識をボランティアとして活かしたいと思っている方を講師として登録し、市民からの利用申請を受け付け、講師との日程調整等の講座実施に向けた事務を行う。	登録者数【65人】	【決算額 0円】 【指標値実績 51人】 講座実施件数 4件 講座参加人数 57人		【決算額 0円】 【指標値実績 54人】 講座実施件数 1件 講座参加人数 14人	
33	基本目標Ⅲ育みつながる施策② 市民が主体的に文化に関わりつながりを持てる仕組みの構築	市民主体の国際交流支援事業、相互理解促進	国際交流課	市民を中心に草の根で国際交流親善を図るとともに、外国人住民との相互理解が深まるような事業を協会と協力して実施している。	市民主体の国際交流促進と、市内に住む人同士の相互理解を深めるため、インターナショナルフェスティバル、日本語ひるば、国際理解セミナー、文化交流事業などを行う。	参加人数【900人】	【決算額 948,217円】 【指標値実績 6,237人】 特記事項:国際交流協会主催(市も共催)のインターナショナルフェスティバルについては、アンデルセン公園の無料開放デーに合わせて開催したため、参加人数が5,000人となっている。R2.2中旬以降、新型コロナウイルスの影響で国際交流協会事業は中止となった。		【決算額 5,000円】 【指標値実績 なし】 R2年度は新型コロナウイルスの影響により国際交流協会の活動はため10月24日にアンデルセン公園で開催されるインターナショナルフェスティバルで記念事業が行われる予定。	R3年は船橋・ヘイワード姉妹都市提携35周年であるため10月24日にアンデルセン公園で開催されるインターナショナルフェスティバルで記念事業が行われる予定。
34	基本目標Ⅳ活かし伝える施策① 船橋の文化に関するアーカイブを作成	ふなばし市民力発見サイト	市民協働課	様々な知識、経験や技能を持つ個人の情報を収集、発信することを目的に平成27年3月に開設。同年10月に、それまで市民活動団体の情報を収集・蓄積していた「ふなばし市民活動情報ネット」を統合し、現在は個人及び団体の情報が掲載されている。	市内において、様々な知識、経験、技能等を持つ、若しくは公益的な活動を行う個人又は団体に関する情報を、市が収集・蓄積し、インターネットを介して提供することにより、市民力の活性化を目指す。発見サイトに登録すると、登録者(団体)にIDとパスワードが付与され、団体の概要やイベントの告知、会員の募集等の記事の掲載や、団体のホームページへのリンクを貼ることにより、サイト内で情報発信ができる。	年度末登録件数【622件】	【決算額1,984,300円】 【指標値実績 年度末登録件数 620件】 インターネットを活用した情報発信のツールを提供することにより、地域の情報を可視化することができた。		【決算額1,947,000円】 【指標値実績 年度末登録件数 605件】 インターネットを活用した情報発信のツールを提供することにより、地域の情報を可視化することができた。	
35	基本目標Ⅳ活かし伝える施策② 地域の伝統文化の保護・継承	取掛西貝塚保存事業・海老ヶ作貝塚整理調査事業	文化課	平成26年に起こった海老ヶ作貝塚損壊事件を受け、重要な遺跡を後世に伝えるため、開発等に先行して遺跡を保護する施策に積極的に取り組む。	重要な遺跡を後世へ伝えるため、調査・分析・研究を行って遺跡の価値を明らかにし、市・県・国指定史跡化を積極的に図り、開発等に先行して保護する。	普及事業回数【5回】	【決算額 32,004千円】(取掛西貝塚保存事業のみ) 【指標値実績 27回】 遺跡見学会・体験発掘4回(参加者総数581人)・講師派遣等22回(参加者総数1,116人)		【決算額 21,899,104円】(取掛西貝塚保存事業のみ) 【指標値実績 0回】 新型コロナウイルスの影響により、講演会も中止せざるを得なかった。	
36	基本目標Ⅳ活かし伝える施策② 地域の伝統文化の保護・継承	埋蔵文化財保護事業	文化課	文化財保護法に基づき、遺跡内で計画された開発等工事と埋蔵文化財保護の調整を行い、適切に埋蔵文化財を保護する。	埋蔵文化財の保護のため、遺跡で開発等工事を計画している事業者と、可能な限り遺跡を現状で保存するため、遺跡が破壊される範囲が最小限になるよう、事前に調整・協議を行う。やむを得ず遺跡が破壊される場合は、発掘調査を実施し、整理・分析を行って報告書を刊行し、記録を後世に伝える。	発掘調査件数【35件】	【決算額 139,664千円】(埋蔵文化財調査費) 【指標値実績 36件】 本調査7件、確認調査28件、確認・本調査1件 報告書刊行6冊		【決算額 146,755,953円】(埋蔵文化財調査費) 【指標値実績 40件】 本調査11件、確認調査29件 発掘調査報告書刊行7冊	
37	基本目標Ⅳ活かし伝える施策② 地域の伝統文化の保護・継承	文化財調査事業	文化課	文化財としての価値等を確認するとともに、将来に伝えていくことを目的に記録保存を行う必要がある。	指定・未指定文化財を調査し、その内容や歴史を記録する。保存が困難なものについては、記録保存を行い、後世に資料を残す。保存が可能なものについては、指定等を含む保護処置について文化財審議会に諮るために、調査を実施し、資料を作成する。	未指定文化財の調査件数【9件】	【決算額 9,800円】 【指標値実績 9件】 市内の神社や無形文化財等(灯明台祭・湊町八剱神社本祭り・印内八坂神社例祭・二和開墾150周年記念碑・飯山満町八幡神社の神像等)の内容を調査することができた。		【決算額 6,809,600 円】(文化財調査諸経費) 【指標値実績 1件】 民俗行事のほとんどが中止となり、調査が出来なかった。閉館により解体が決まった「玉川旅館」については詳細な調査を行い、映像等で記録保存を行うことができた。	
38	基本目標Ⅳ活かし伝える施策② 地域の伝統文化の保護・継承	文化財保護事業	文化課	指定・登録文化財の伝承や維持に、多額の費用がかかることから、伝承者や所有者の要望により、維持管理や修繕などの費用の一部補助を行う。	文化財を保護し、将来へ残すことを目的とし、指定・登録文化財及びその他の文化財の状況、実態調査結果に基づき、保護についての指導等を行う。また、指定・登録文化財へ管理伝承事業、修理等についての補助金を交付する。	文化財への補助【32件】	【決算額 2,295千円】 【指標値実績 31件】 文化財管理伝承費補助金25件 文化財修理等事業補助金6件(〔灯明台〕灯室ガラス修理・西側屋根修理、「梯子乗りと木遣り歌」梯子等用具購入・薫口購入、「高根町神明社の神楽」神楽衣装購入、「石造自休大徳坐像」小堂(祠)屋根修繕) 神楽伝承者(団体)交流会1回		【決算額 3,150,000 円】(文化財保護事業費) 【指標値実績 27件】 文化財管理伝承費補助金25件 文化財修理等事業補助金2件(「梯子乗りと木遣り歌」梯子等用具購入、「二宮神社社殿」社殿屋根補修工事	コロナ禍により地域の伝統行事などが中止になり、文化の継承ができなくなるのが心配である。